

ボタンは納屋の中にとびこむなり、ベティの囲いにかけて、柵を必死につつきはじめました。

ベティは声をかぎりに鳴きながら、柵に体当たりしています。

ベティの囲いは、ビニールプールの水のおかげでまだ火がまわっていません。でも、それも長くつづかないでしょう。すでに、プールの片側は溶けはじめているのです。

プールに火がついて、燃え上がったら?!

トムとジャスマンは同時にわれにかえり、納屋の中にかげこみました。

熱くて、はだが焼けるようです。けむりで鼻が痛くなり、灰が目に入ってヒリヒリして、なみだがどつと出てきます。それでも、奥のベティの囲いにたどりつくと、すぐにトムがボタンをつかまえ、ジャスマンは柵をのりこえて囲いの中に入りました。

そして、鳴いたりけつたして暴れるベティをかかえて、トムに渡すと、トムがもう一方の手でベティをだきました。

「外へつれてって!」ジャスマンはさけぶと、柵をのりこえ、となりの囲いに入りました。

